



令和5年度 第六次塩尻市総合計画基準指標設定のための 市民意識を測定するアンケート集計概要

**多彩な暮らし、叶えるまち。
- 田園都市 しおじり -**

調査の概要

調査趣旨

令和6～14年度の9年計画の「第六次塩尻市総合計画」策定にあたり、市民の皆様に行行政サービスの状況等を伺い、**将来目標の基準値**として活用

調査対象

塩尻市に住民票を有する15～74歳の方から**2,000名を選定**

※層化抽出法による

調査期間

令和5年12月1日～12月22日

調査方法

対象者へ調査票の郵送配布し、**回答方法は「郵送」または「オンライン」**

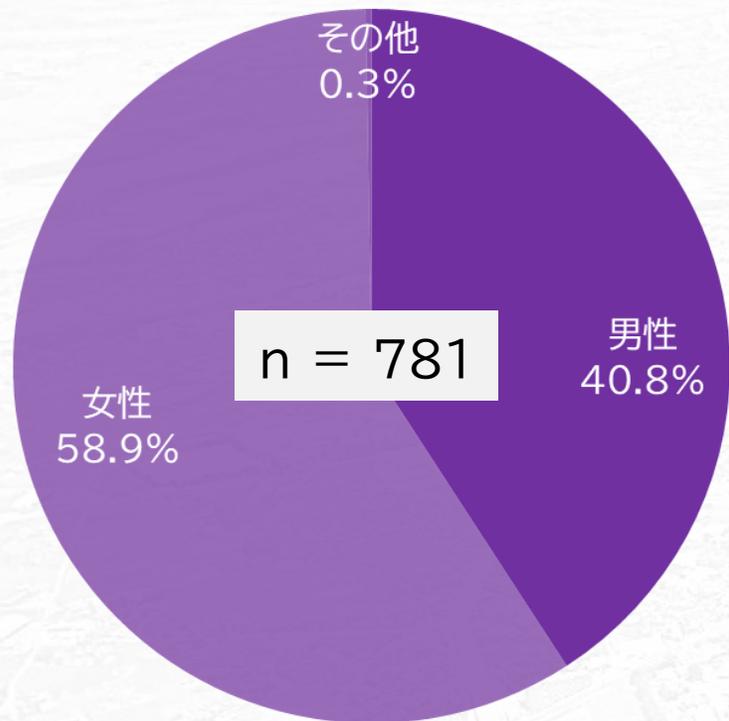
回答数

782名(回答率 39.1%)

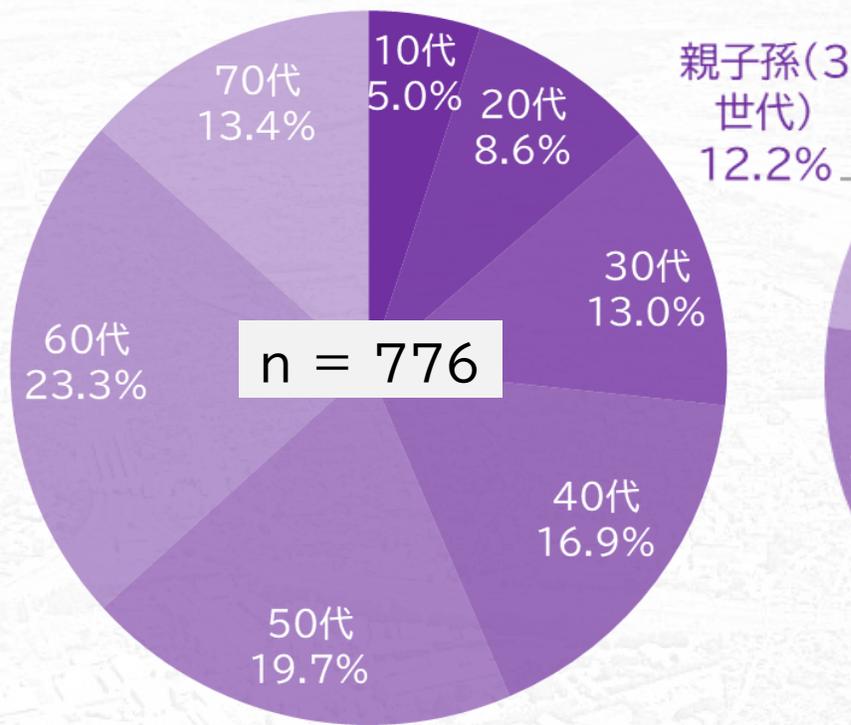
※集計は無回答を除いて算出を行い、割合は合計が100.0%にならない場合がある
※本回答数による95%信頼区間の「回答比率 50.0%」における誤差率は「±3.5%」

回答者属性について ①

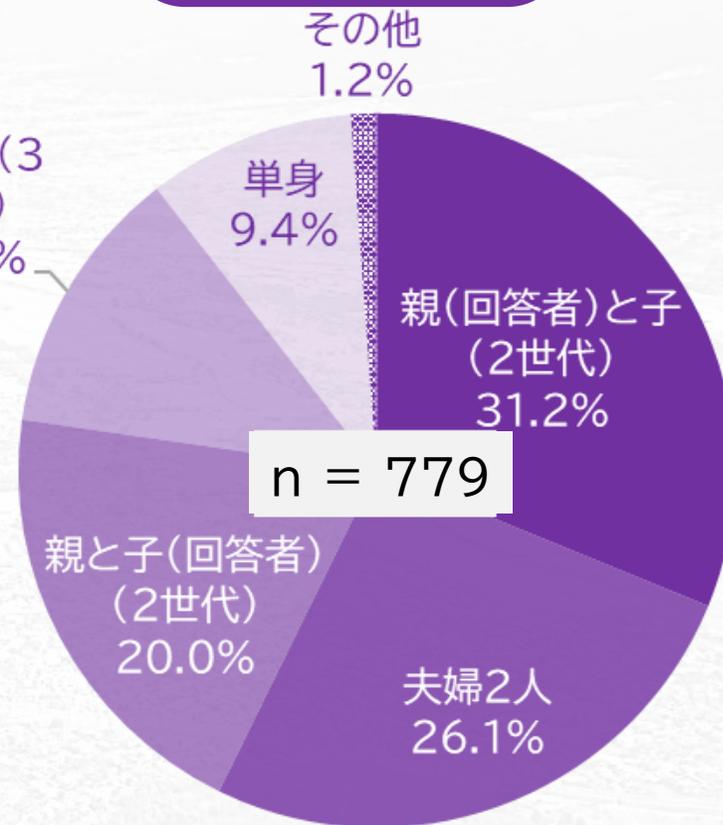
性別



年代別

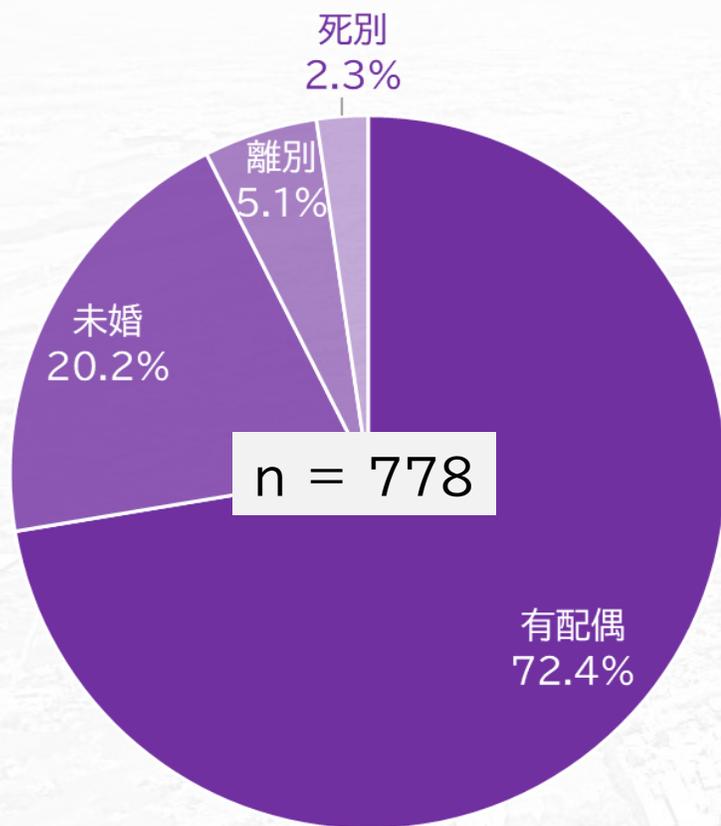


家族構成

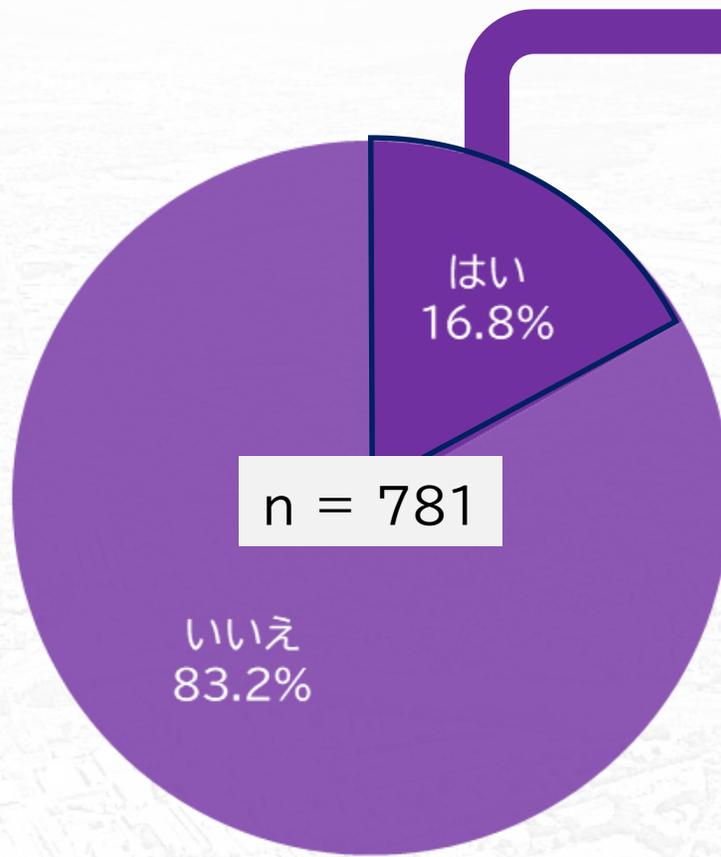


回答者属性について ②

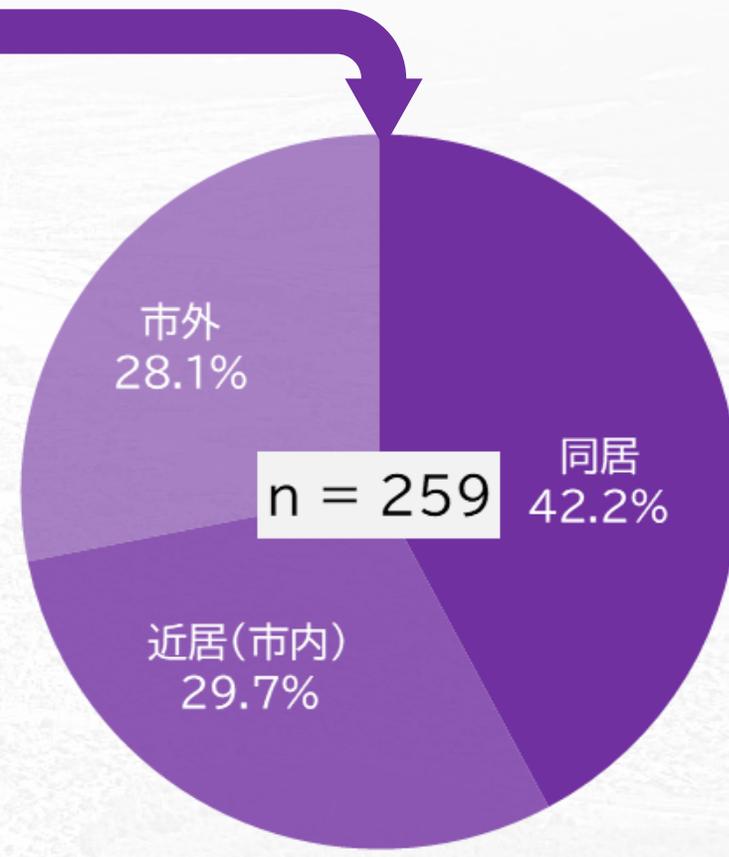
配偶関係



要介護者の有無

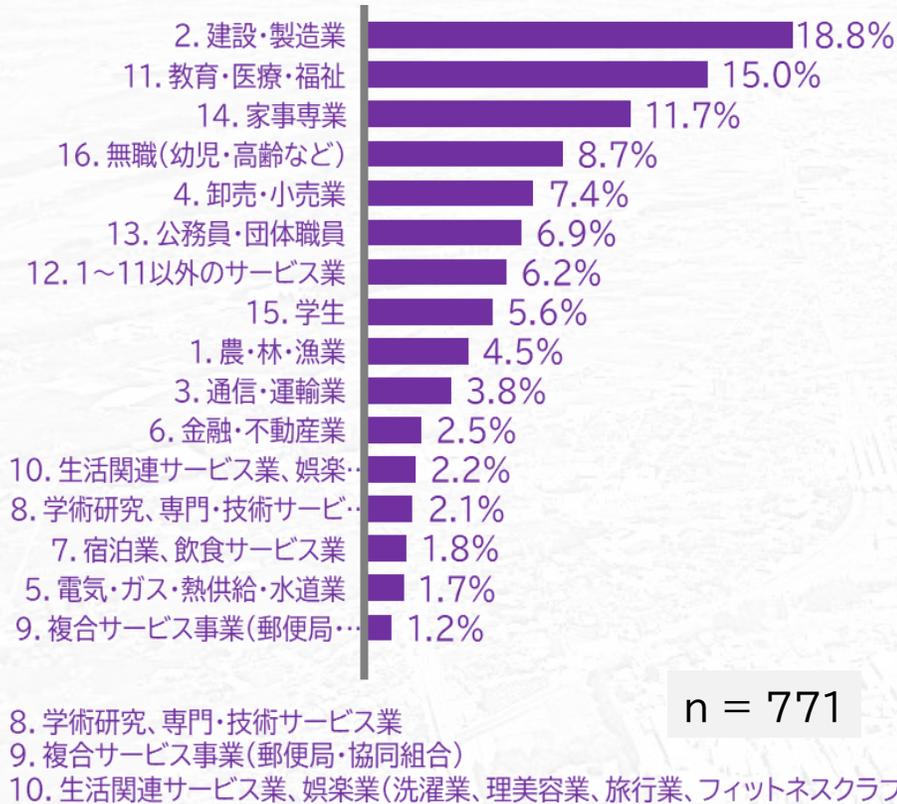


要介護者の居住先

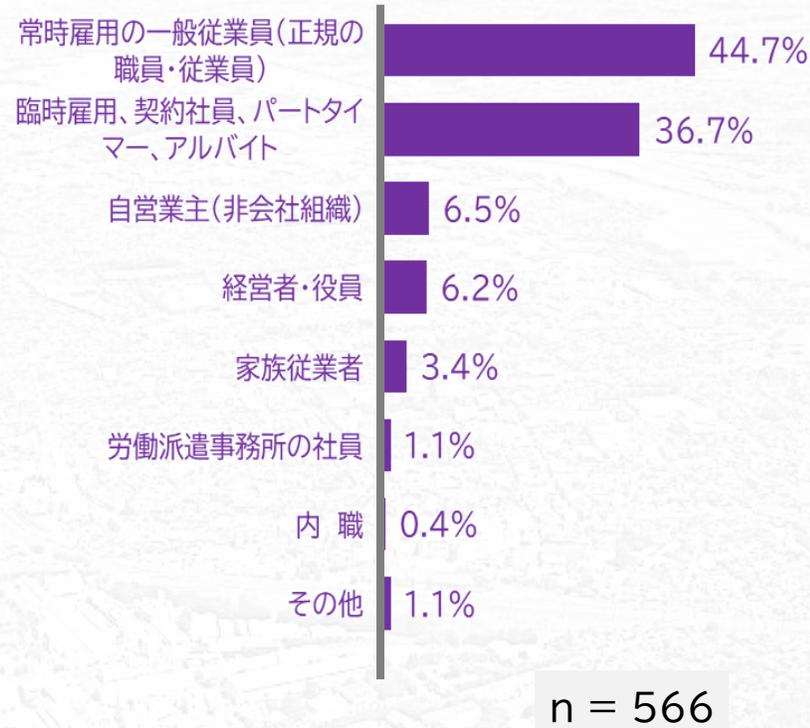


回答者属性について ③

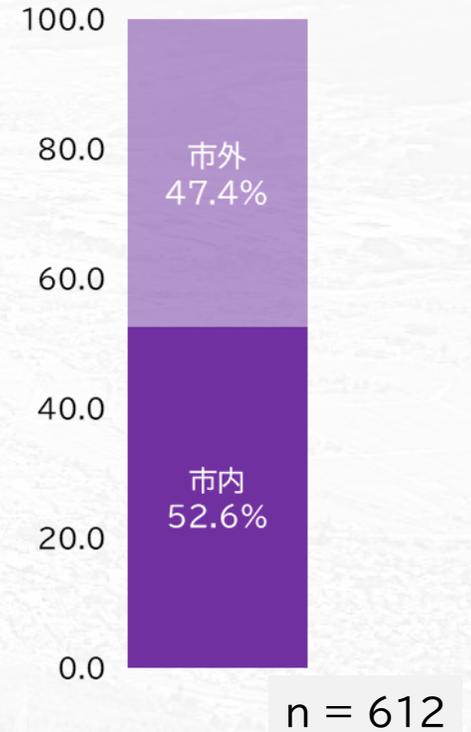
職業(業種)



職業(従業上の地位)

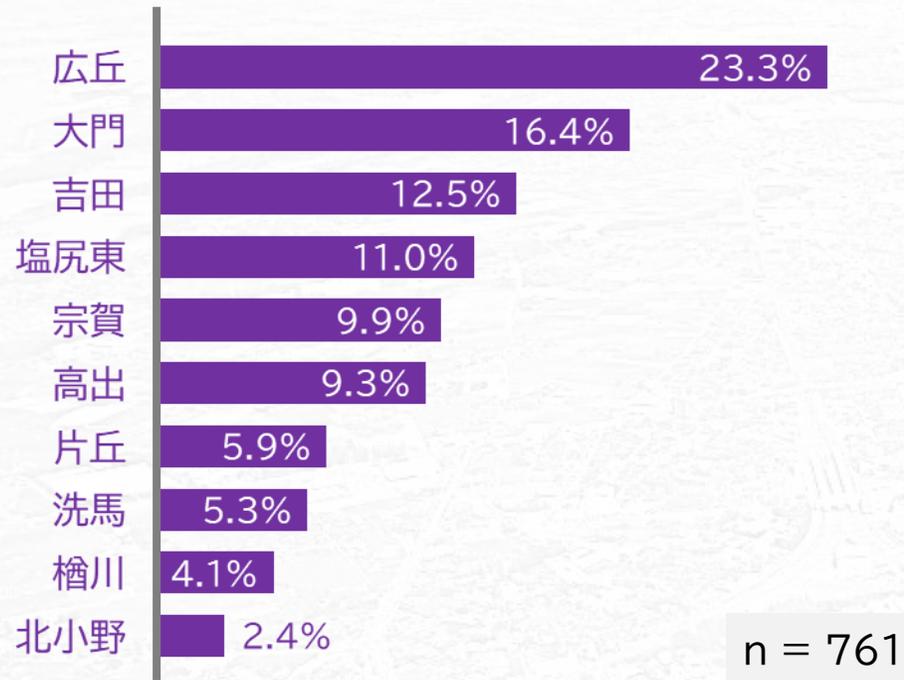


勤務地・通学地

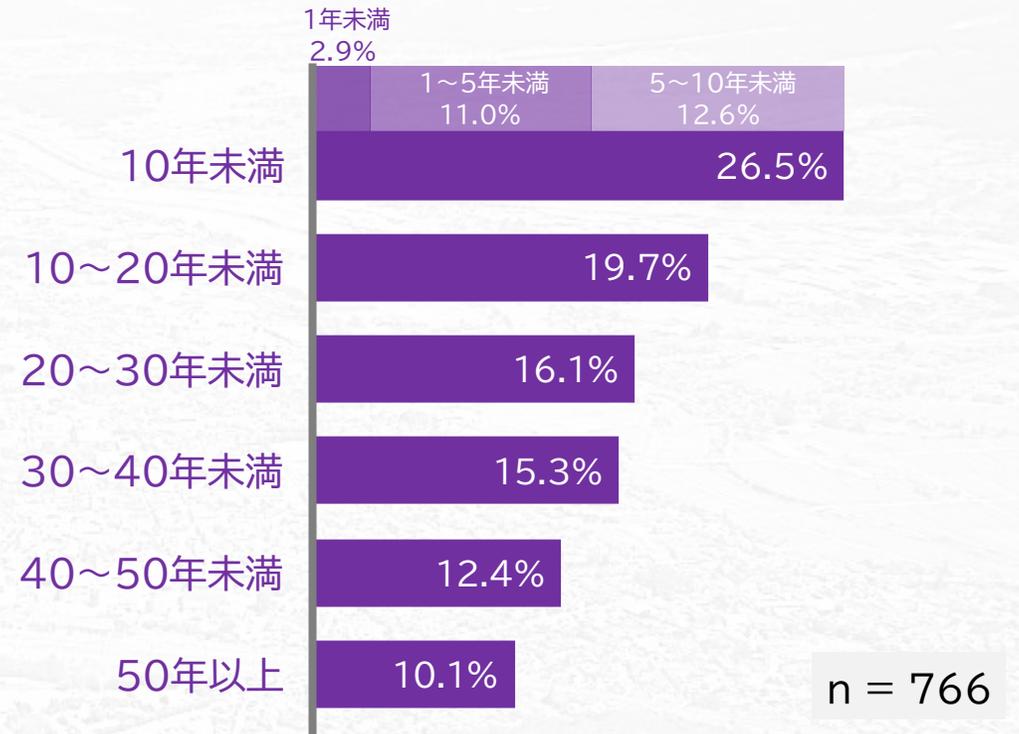


回答者属性について ④

居住地



居住年数



基本戦略A 未来共育

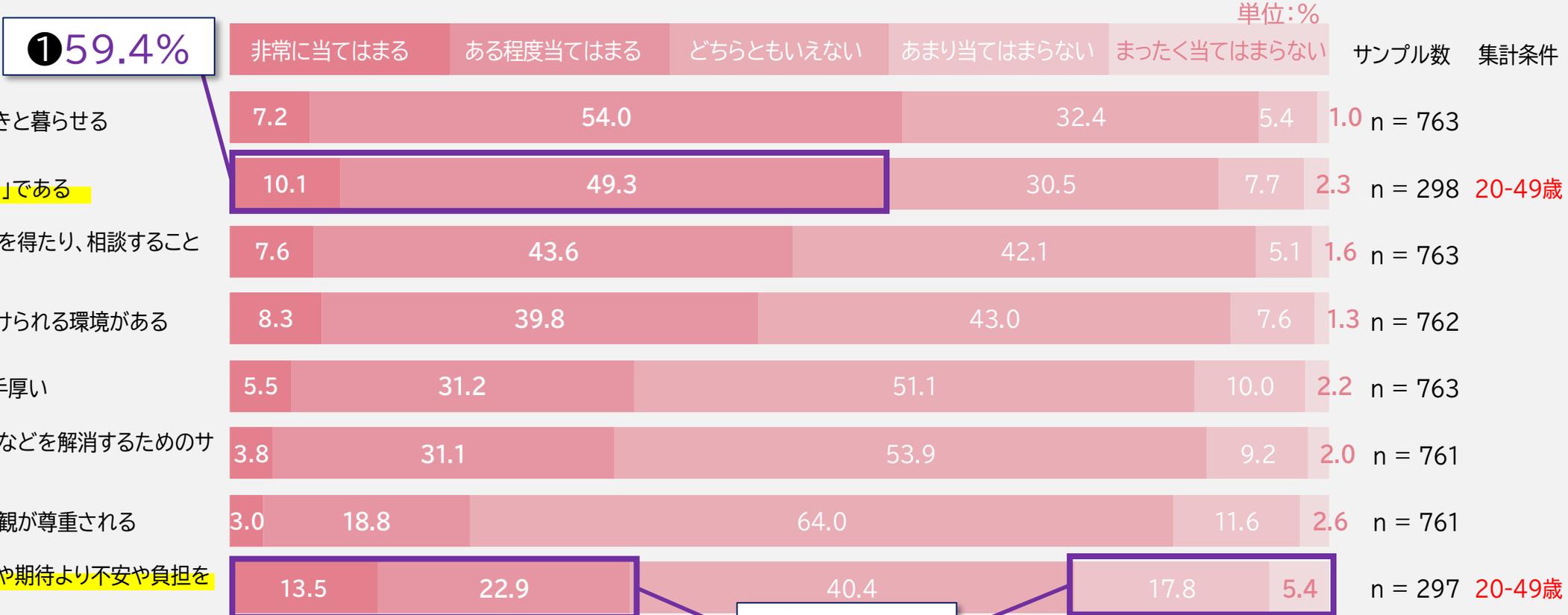
1 パートナーシップ・子育て



①『(2)塩尻市は、「子育てしやすいまち」である』に対し、当てはまると回答した20-49歳の割合は、59.4%という結果でした。

※当てはまる…(非常に当てはまる+ある程度当てはまるの合計値)

②『(8)あなたは、子育てに対して希望や期待より不安や負担を感じる』に対する20-49歳の割合は、他の質問と比べ、「当てはまる」・「当てはまらない」が二極化している特徴があります。



① 59.4%

② 二極化

基本戦略A 未来共育

2 学校教育・学びの環境



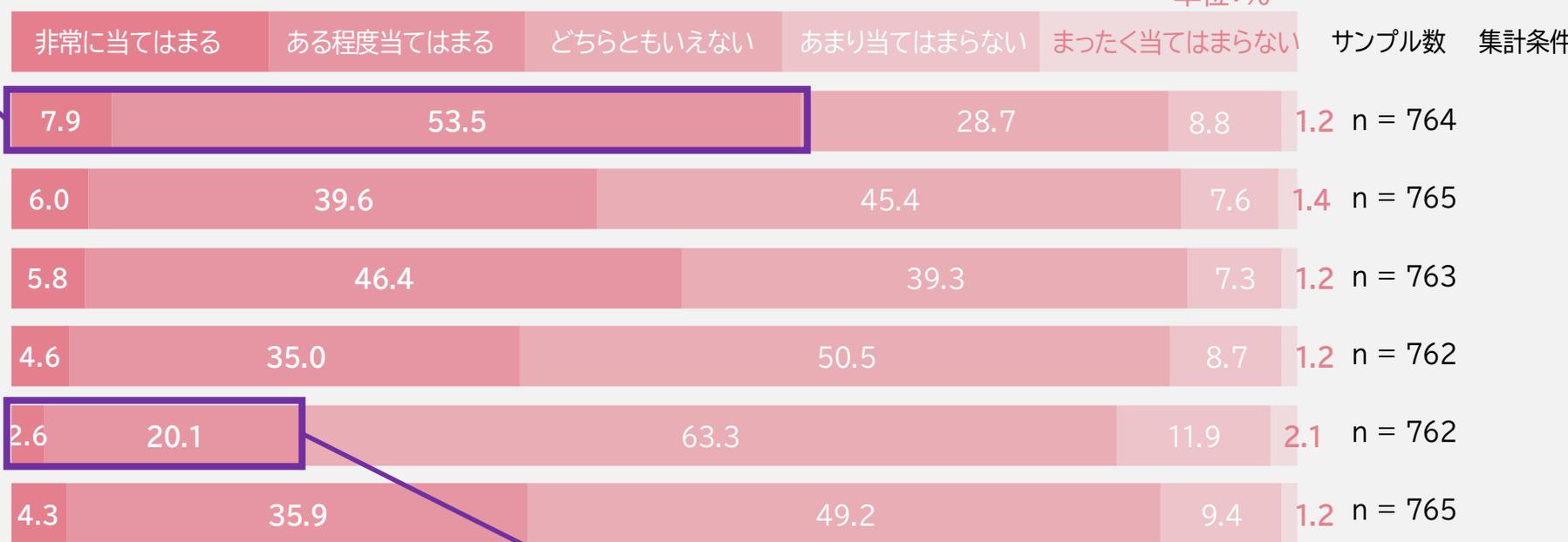
①『(1)塩尻市は、教育環境(小中高校)が整っている』に対し、当てはまると回答した割合は、61.4%という結果でした。

②『(5)塩尻市の子どもたちはコミュニケーション力が高い』に対し、当てはまると回答した割合は、22.7%で、学校教育・学び環境の分野の質問項目のなかで最も低い結果となりました。

※当てはまる…(非常に当てはまる+ある程度当てはまるの合計値)

単位:%

① 61.4%



② 22.7%

基本戦略A 未来共育

3 伝統・文化芸術・スポーツ・生涯学習

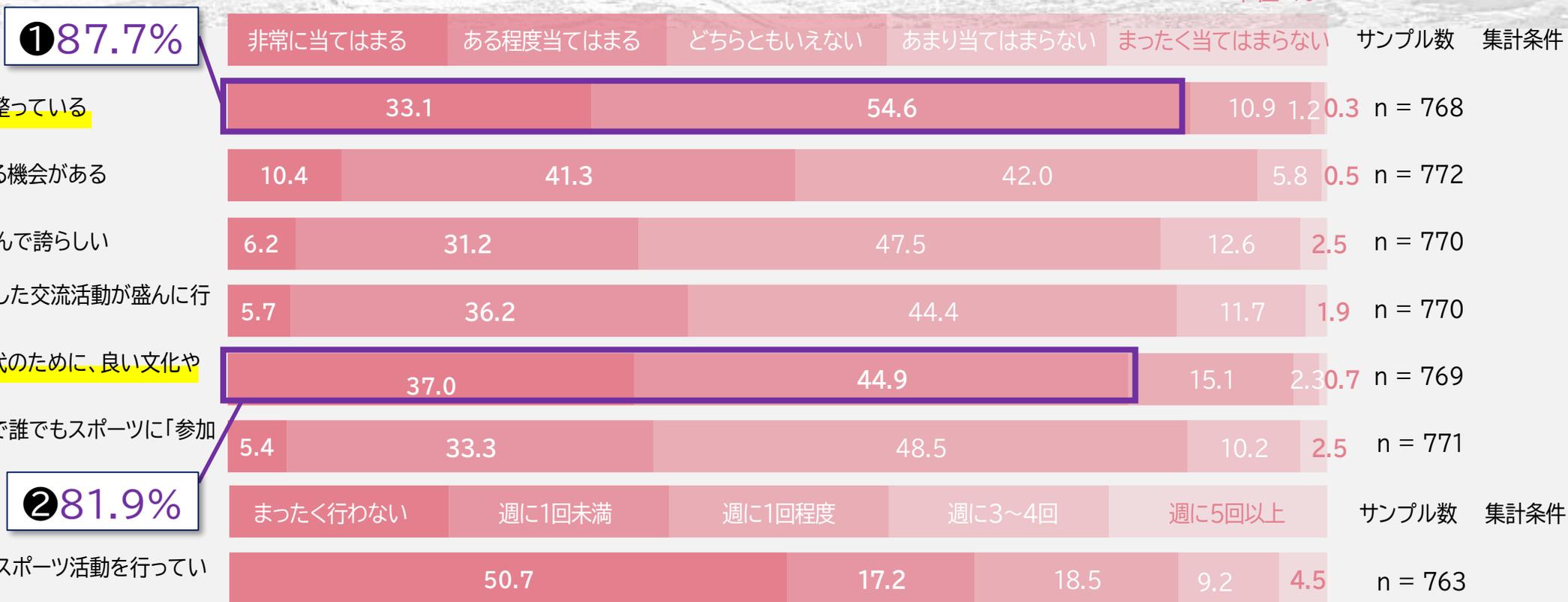


当てはまると回答した割合が多かった項目は、

①『(1)塩尻市は、図書館の利用環境が整っている』 87.7%

②『(5)あなたは、将来生まれてくる世代のために、良い文化や環境を残したい』 81.9%

という結果でした。



基本戦略B 共創循環

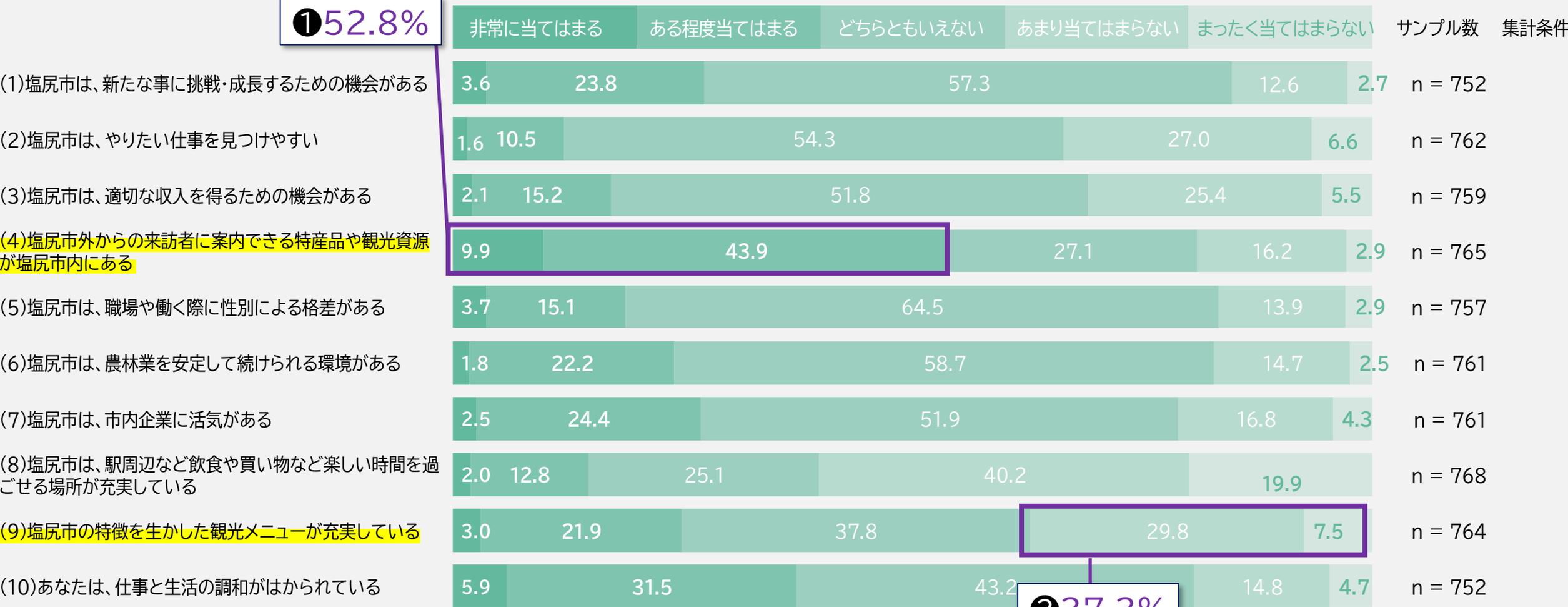
4 地域経済・産業・観光・就労



『(4)塩尻市外からの来訪者に案内できる特産品や観光資源が塩尻市内にある』に対し、当てはまると回答した割合は、**①52.8%**で半数以上を占めている一方、『(9)塩尻市の特徴を活かした観光メニューが充実している』は、当てはまるが**24.9%**で4分の1程度の割合、あてはまらない回答は**②37.3%**となり、観光に関する質問で対照的な結果となりました。

単位:%

①52.8%



②37.3%

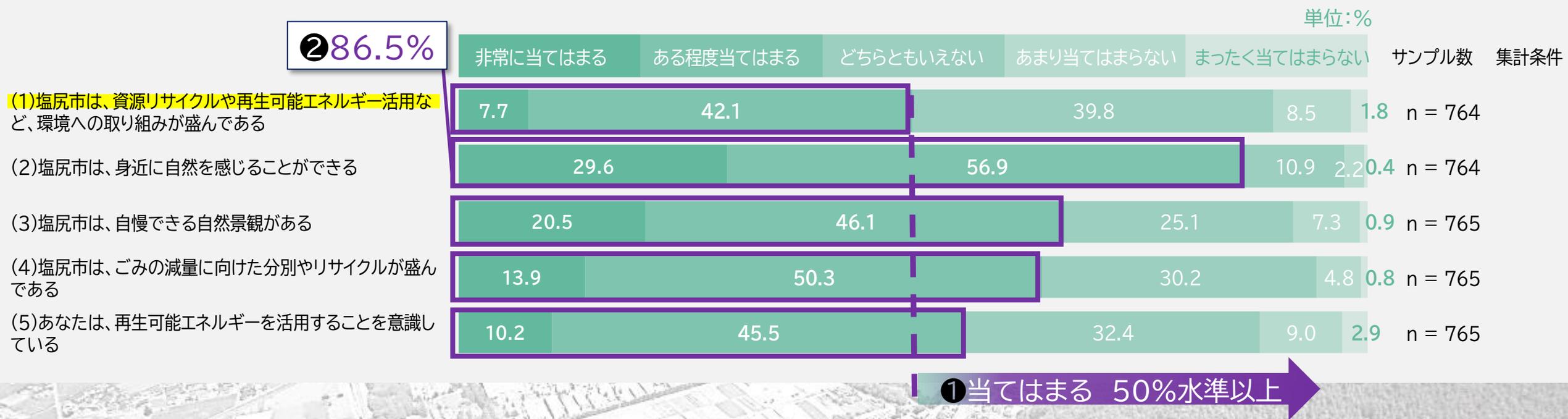
基本戦略B 共創循環

5 環境・気候



環境・気候分野における質問は、当てはまると回答した割合が、**①50%以上**である項目が多い特徴がみられました。(言い換えると2人に1人は**当てはまる**という意識を持つ)

うち、**②『(2)塩尻市は、身近に自然を感じる事ができる』**が最も高く、**86.5%**を占めています。



基本戦略B 共創循環

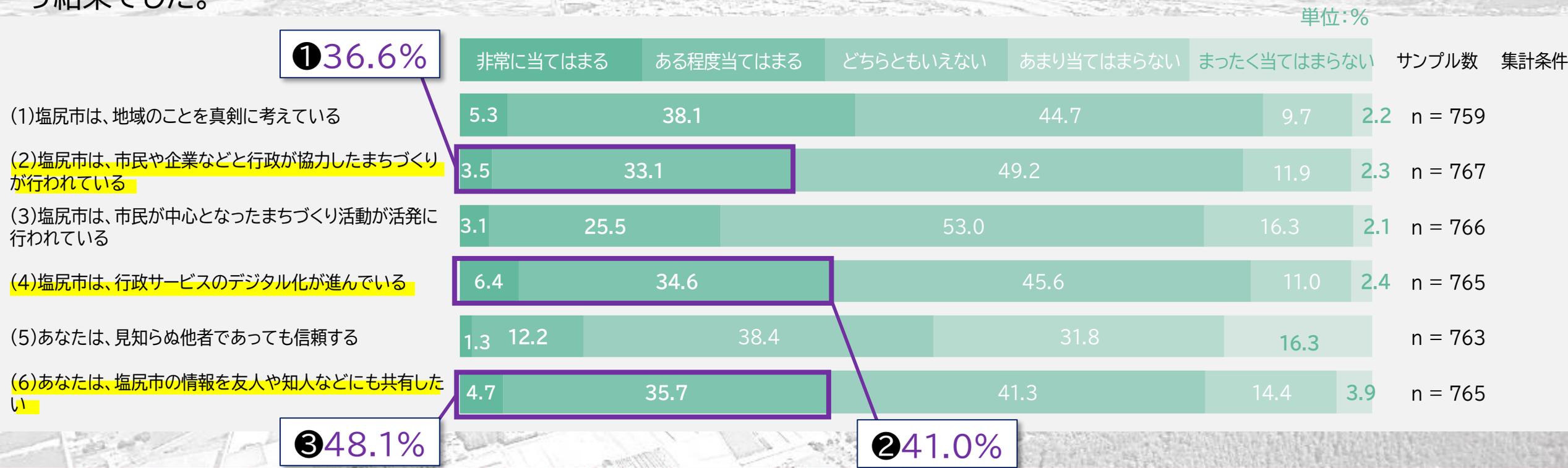
6 協働参画・連繋・行政運営①



①『(2)塩尻市は、市民や企業などと行政が協力したまちづくりが行われている』に対し、当てはまると回答した割合は、36.6%という結果でした。

②『(4)塩尻市は、行政サービスのデジタル化が進んでいる』に対して、当てはまると回答した割合は41.0%でした。

③『(6)あなたは、塩尻市の情報を友人や知人などにも共有したい』に対して、当てはまると回答した割合は48.1%という結果でした。

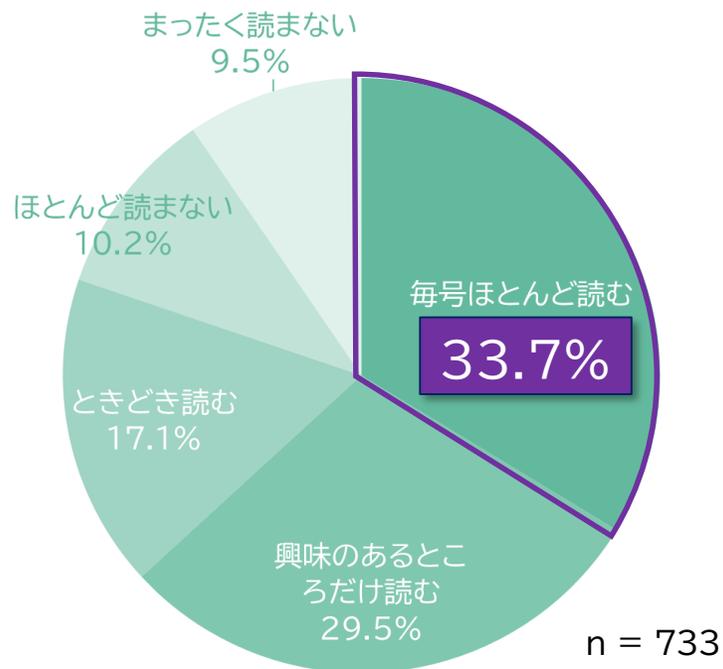




①『(7)広報塩尻を読む頻度』について、**毎号ほとんど読む**と回答した割合は、**33.7%**という結果でした。

②『(7)同頻度 × 年代』について、年代が上がるに連れて**毎号ほとんど読む・興味のあるところだけ読む**という割合が増え、**まったく読まない・ほとんど読まない**の割合が減る特徴があります。

(7)広報塩尻を読む頻度



× 年代

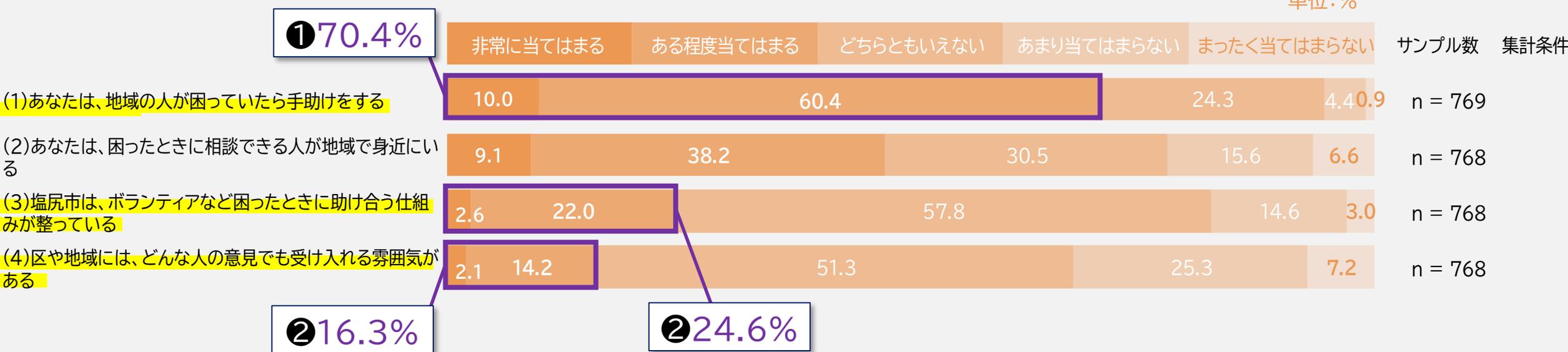
単位:%

	n = 733	n = 36	n = 66	n = 100	n = 125	n = 139	n = 165	n = 97
	総数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
毎号ほとんど読む	33.7	0.0	15.2	23.0	36.8	38.1	37.6	51.5
興味のあるところだけ読む	29.5	8.3	12.1	26.0	30.4	30.2	40.0	32.0
ときどき読む	17.1	33.3	19.7	26.0	20.0	15.8	11.5	8.2
ほとんど読まない	10.2	19.4	33.3	8.0	8.8	7.2	6.7	6.2
まったく読まない	9.5	38.9	19.7	17.0	4.0	8.6	4.2	2.1



- ① 『(1)あなたは、地域の人が困っていたら手助けをする』に対し、当てはまると回答した割合は、70.4%という結果でした。
- ② 『(3)塩尻市は、ボランティアなど困ったときに助け合う仕組みが整っている』に対して、当てはまると回答した割合は、24.6%(約4人に1人)でした。
- ③ 『(4)区や地域には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある』に対して、当てはまると回答した割合は、16.3%で地域社会・支え合い分野の質問のなかで最も低い数値でした。

単位:%



② 16.3%

② 24.6%

① 70.4%



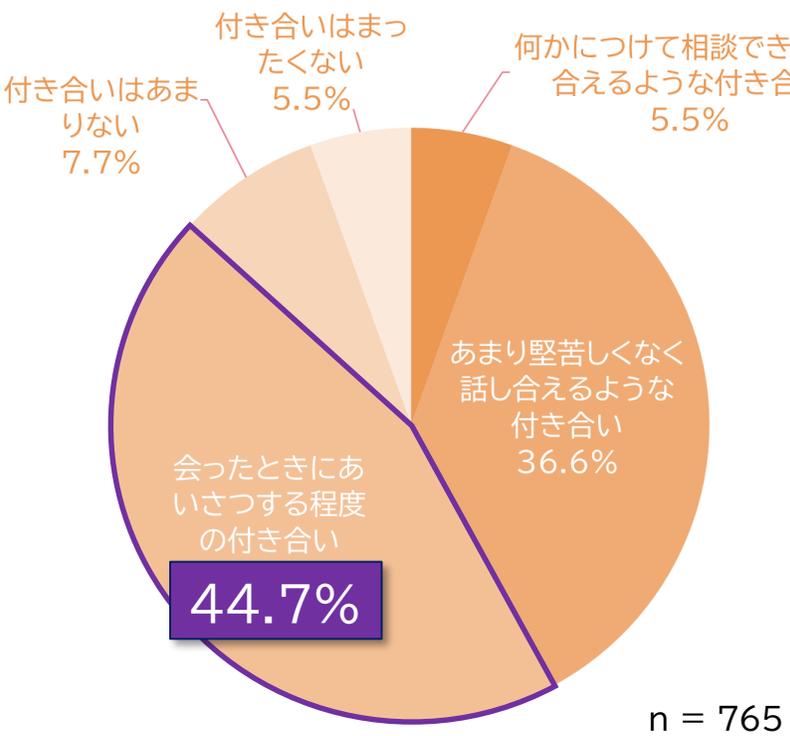
- ① 『(7)隣近所との付き合い方』について、会ったときにあいさつする程度の付き合いと回答した割合が総数(平均値)で最も多く、44.7%という結果でした。
- ② 『(7)隣近所との付き合い方 × 居住地区』について、都市部(大門・高出・広丘・吉田)は、会ったときにあいさつする程度が平均値(再掲)44.7%以上で、農村部(塩尻東・片丘・洗馬・宗賀・北小野・檜川)は、あまり堅苦しくなく話し合えるが平均値の33.6%以上という特徴を持ちます。

隣近所との付き合い方

× 居住地区

単位:%
 n = 765 n = 122 n = 70 n = 172 n = 93 n = 81 n = 45 n = 40 n = 73 n = 18 n = 31

	総数 (平均値)	都市部				農村部					
		大門	高出	広丘	吉田	塩尻東	片丘	洗馬	宗賀	北小野	檜川
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
何かにつけて相談でき、助け合えるような付き合い	5.5	4.1	1.4	5.2	3.2	8.6	6.7	7.5	4.1	5.6	16.1
あまり堅苦しくなく話し合えるような付き合い	36.6	32.0	31.4	31.4	26.9	38.3	46.7	57.5	46.6	44.4	54.8
会ったときにあいさつする程度の付き合い	44.7	46.7	50.0	48.3	53.8	43.2	35.6	30.0	42.5	44.4	19.4
付き合いはあまりない	7.7	7.4	8.6	9.9	6.5	6.2	11.1	2.5	5.5	5.6	9.7
付き合いはまったくくない	5.5	9.8	8.6	5.2	9.7	3.7	0.0	2.5	1.4	0.0	0.0

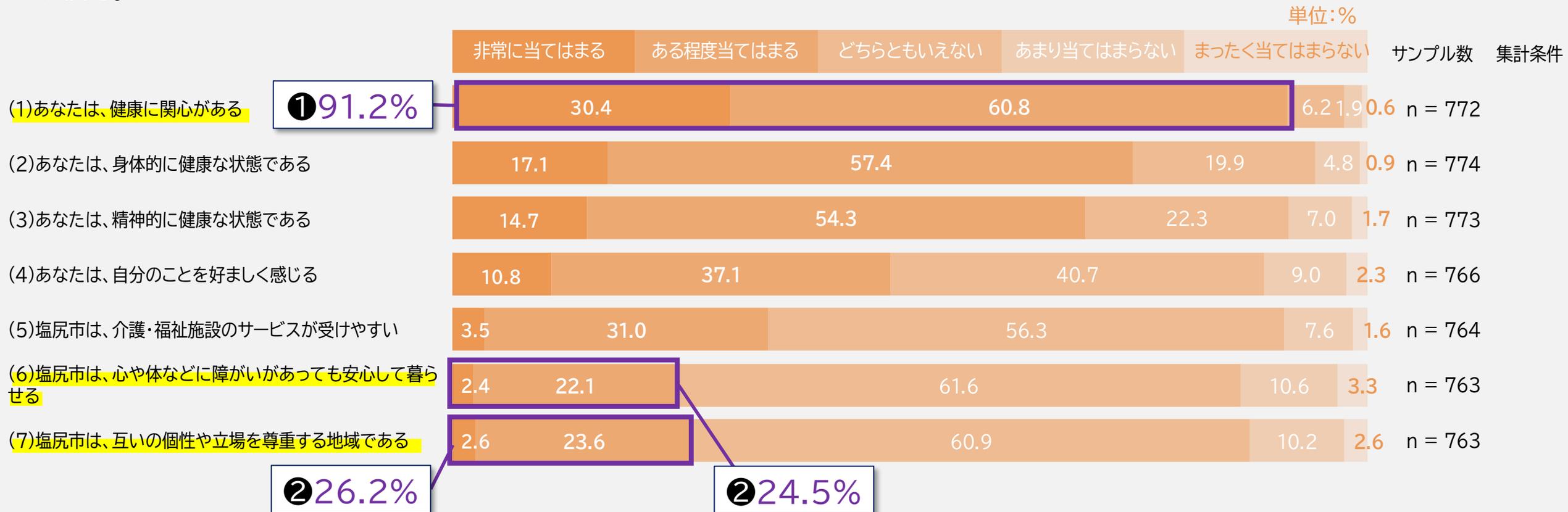


基本戦略C 安心共生

8 医療・介護・保健・福祉



- ① 『(1)あなたは、健康に関心がある』に対して当てはまると回答した割合は、91.2%という結果でした。
- ② 『(6)塩尻市は、心や体などに障がいがあっても安心して暮らせる』に対し、当てはまると回答した割合は、24.5%という結果でした。
- ③ 『(7)塩尻市は、互いの個性や立場を尊重する地域である』に対し、当てはまると回答した割合は、26.2%という結果でした。

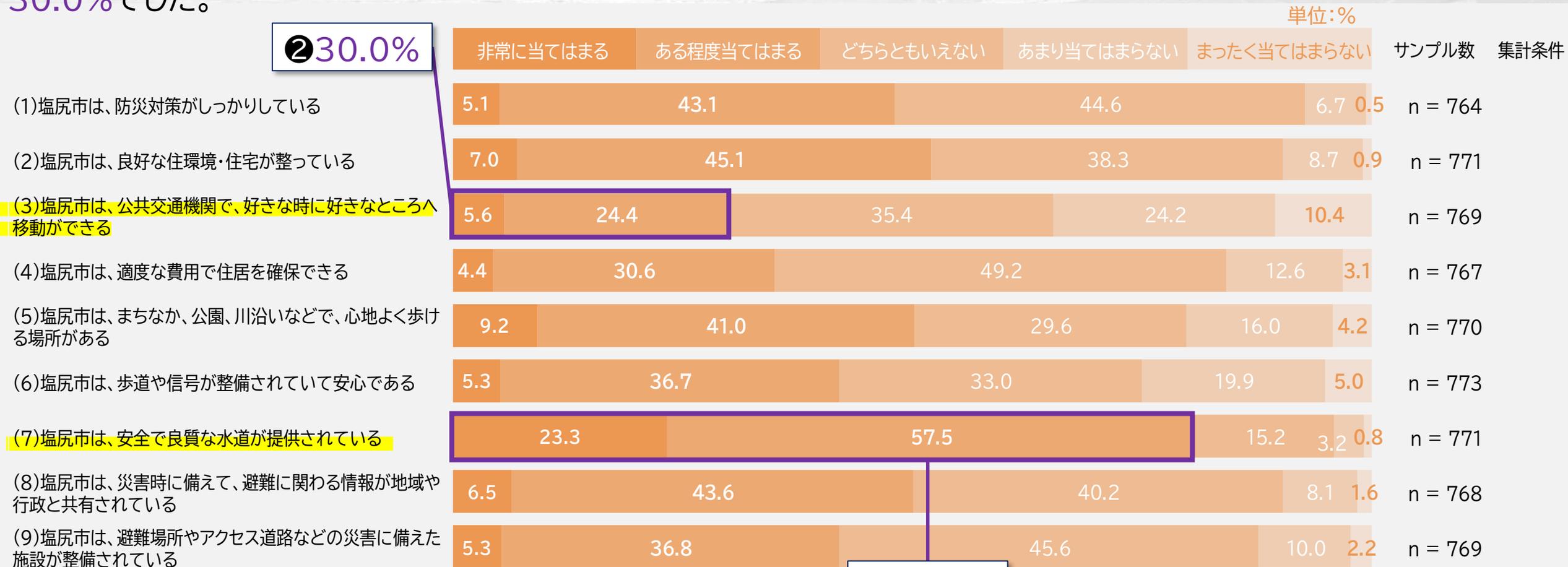


基本戦略C 安心共生

9 まちづくり・インフラ・防災



- ① 『(7)塩尻市は、安全で良質な水道が提供されている』に対し、当てはまると回答した割合は、80.8%でした。
- ② 『(3)塩尻市は、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる』に対し当てはまると回答した割合は、30.0%でした。



② 30.0%

① 80.8%

10 暮らし全般について ①

「(1)現在、あなたは、どの程度幸せですか」について、0～10の11段階の幸福度評価は、①平均値が6.91で、最頻値が

「8」で割合は、②28.7%でした。0～4と回答した割合は、全体の③9.3%であり、約9人に1人という結果でした。

「(1)現在、あなたは、どの程度幸せですか」と「(3)今から5年後、あなたは、どの程度幸せだと思いますか」の平均値を比

べると、『現在:①6.91 > 5年後:④6.46』となり、5年後が△0.45ポイント低くなっていることがわかります。

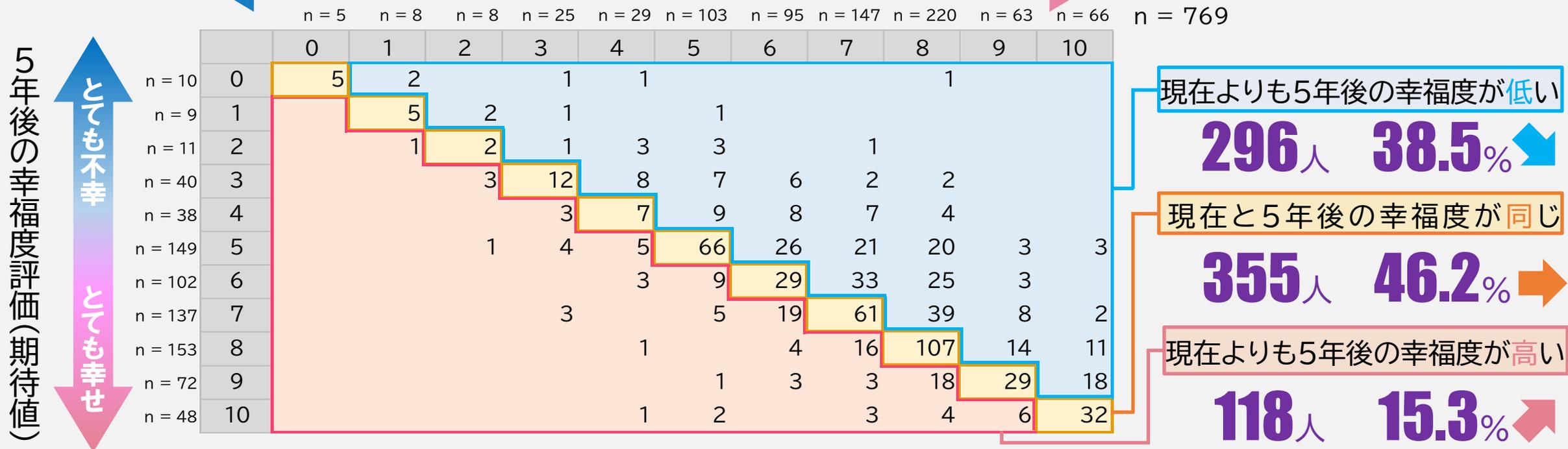


10 暮らし全般について ②

「現在の幸福度」と「5年後の幸福度」の関係性をみたもので、「現在と5年後の幸福度が同じ」・・・355人(46.2%)が最も多く、続いて「現在よりも5年後の幸福度が低い」・・・296人(38.5%)、最も少なかったのは、「現在よりも5年後の幸福度が高い」・・・118人(15.3%)という結果でした。

現在の幸福度評価

※質問に対し両回答得られたデータのみで集計しているため、単一集計値と一致しない。

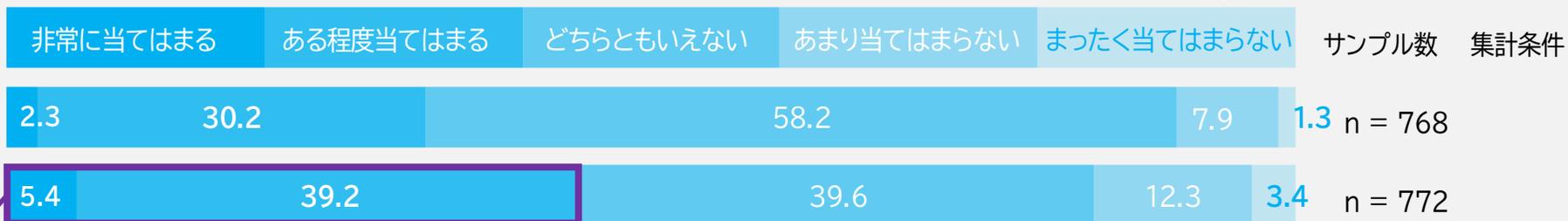


10 暮らし全般について ③

「(6)あなたは、塩尻市を他の地域に誇れる」について、当てはまると回答があった割合は、**①44.6%**でした。

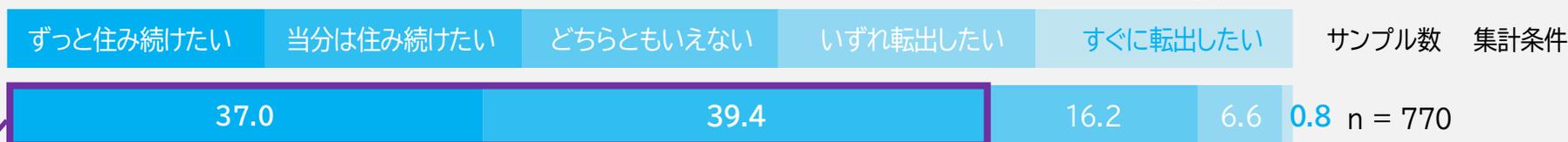
「(7)あなたは、塩尻市に住み続けたいと思いますか」について、住み続けたい(ずっと住み続けたい・当分は住み続けたい)と答えた割合は、**②76.4%**でした。

単位:%



①44.6%

単位:%



②76.4%